

崩拓銀

<4>10.10.9

藤田もいら立ちを隠せなかった。

藤田が拓銀の姿勢を問いた。河谷が弁明する。会谈はそんなバタンの繰り返しだったが、この日はいつもと二つだけ違っていた。合併委員会の席で又千魔ぶりを発揮していた道銀側の事務方が、一切又千を取りなかつたのだ。

会谈後、そのことを聞かされた河谷は「藤田頭取は延期を通告したかっただけなんだな」と悟った。

この日を境に、道銀は次々と延期発表の期日を指定しては、拓銀に同意を迫った。七

藤田恒郎道銀頭取「合併は、正午近くになってようやく破算にして、条件が整うまで不良債権処理など個別に合理化の実を挙げていくべきだ。記者発表したい。最後通告だと思ってください」

会谈を重ねることに藤田の口調は激しさを増していた。

延期

河谷恒昌拓銀頭取「なぜ、急ぐのか。(合併交渉の)部会を止めたのはどちらだ。拓銀は一度も止めていない」

藤田「みんなわが方が悪いと言っているんですか」

河谷「だが、とまご言うつもりはないが…」

昨年七月十二日午前九時に始まった九回目の頭取会談

河谷が確約したはずの拓銀のリストは、いっこうに進まない。頭取間で「業態は地銀」と合意したのに、拓銀内部で意思統一が図られない。拓銀

が抱えている巨額の不良債権への不安…。日ごろは紳士の

月十四日、次は八月四日、そ

白紙撤回ととらえられ、取り

拓銀は、すがるような思いで

谷から道銀側の対応について

説明を聞き終わると、本間は

であった。だが、藤田は文書を二読す

拓銀問題取材班

役員フロア

数多くの決断がなされ、そして指示が下された

だが、合併委員会は七月三日を最後に、再開される気配は全くなかった。

それは、霞が関も似たようなものだった。同じ日、河

谷が大蔵省で会った銀行局担

当の中共省審議官はこうつぶ

やいた。「もはや決裂を想定し

ておいた方がいいかもしれま

せんね。河谷は全身から力が

抜けていくのが分かった。

追い詰められた拓銀は八月

八日の頭取会談で、起死回生

をかけて逆提案を行った。河

谷は「合併交渉の再開につい

て」と関連フィンバンク二社

の文書を藤田に差し出した。海外からの

全面撤退など、拓銀として精いっぱい

をみないまま、拓銀の信用不安

はなかった。

それは、霞が関も似たようなものだった。同じ日、河

谷が大蔵省で会った銀行局担

当の中共省審議官はこうつぶ

やいた。「もはや決裂を想定し

ておいた方がいいかもしれま

せんね。河谷は全身から力が

抜けていくのが分かった。

追い詰められた拓銀は八月

八日の頭取会談で、起死回生

をかけて逆提案を行った。河

谷は「合併交渉の再開につい

て」と関連フィンバンク二社

の文書を藤田に差し出した。海外からの

全面撤退など、拓銀として精いっぱい

をみないまま、拓銀の信用不安

ると、「いまさらこうやりまし

ようとペーパーに落とししても

しようがない。いまの拓銀の

不良債権では合併は不可能で

す」と言い放った。実質協議

の再開への望みは完全に消え

うせた。

九月十二日、合併発表以来

の両頭取の共同記者会見で、

合併延期が発表された。延期

後の合併期日の取り扱いで前

日深夜まで調整が続いたが、

結局は「期日を明示しなければ

信用不安が起きる」とする

大蔵省の意向を受け、河谷が

「(九八年)十月をめど」と

協議再開の望み消え

秘書受付